

Anna先生のLife in JAPAN Vol.12



■Anna・George
 ・1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
 ・2010年8月から只見町英語指導助手。
 ・小学校と中学校で語学の指導を行います。

今年も只見が12月中旬に、早くも真っ白な世界に包まれてしまったことに、驚かされました。とてもきれいな景色だと思えます。冬休みはアメリカに行き、友達の家と一緒に過ごします。只見に戻ってくる頃には、たくさん雪が積もっているんですね。

12月は小学校でクリスマスのレッスンをしました。とても楽しかったし、子どもたちも楽しんでいました。今回の写真は明和小学校の1年生と作ったクリスマスカードです。上手に英語が書いていて、びっくりしました。



只見中学校の3年生は入試に向けて日々奮闘中です。3年生のみなさん、ベストを尽くせるよう、勉強がんばってね！

春に私の家族が日本に来ます。家族に会うことが楽しみです。何より、日本を案内できることに今からわくわくしています。家族はゲーデニングや自然が好きなので、きつと日本の美しさに感動することでしょう。

みなさん、新しい年がスタートしました。今年もよろしくお願ひします！

(訳・只見中・福地)

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 菅家 智史

『こぶし苑とリハビリテーション』

新年明けましておめでとうございます。昨年は東日本大震災、豪雨災害と、大変な1年でした。今年は皆様にとって良い年になりますよう、お祈り申し上げます。

さて、私は朝日診療所の医師として勤務しておりますが、只見町の介護老人保健施設こぶし苑の施設長も兼任していますので、今回はこぶし苑の話をしたと思います。

こぶし苑は、法律上「介護老人保健施設」という施設で、本来は「体調変化の後、家庭生活するための準備、調整を行う」ことが目的の施設です。そのため、他の施設と比べて看護職員が多い、リハビリテーション職員が必要、という特徴があります。こぶし苑には、リハビリテーション担当職員として作業療法士が3名勤務しています。日々利用者の皆さん、ご家族の皆さんと相談しながら、運動・作業などリハビリテーションの内容を検討しています。リハビリテーションと聞くと専門の人

にしかできない、と思われがちですが、日頃の生活で意識的に動くことや、利用者さんができる内容に合わせた役割を担ってもらうこと、積極的に会話することも生活の中でできるリハビリテーションです。ご家族や近所の皆さんにも参加・協力いただき、利用者さんがいきいきと生活できるように考えてまいります。

最近、こぶし苑の利用希望の方が急激に増えており、希望の皆様全員にご利用いただけないこと、施設長として大変申し訳なく感じております。施設に制限はありますが、安全に少しでも多くの皆様にご利用いただけるよう、こぶし苑でも検討を重ねてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

最近、こぶし苑の利用希望の方が急激に増えており、希望の皆様全員にご利用いただけないこと、施設長として大変申し訳なく感じております。施設に制限はありますが、安全に少しでも多くの皆様にご利用いただけるよう、こぶし苑でも検討を重ねてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

只見町は人口5千人弱、高齢化率（65歳以上人口の割合）が40%を超える、超高齢化社会です。普段私が外来でお会いする65歳以上の方々には元気に過ごしていらっしゃる方も多いですが、人間は不老長寿ではいられませんので、加齢により筋力・体力・知的能力が低下すること、後遺症を残す病気にかかることが増えて

きてしまいます。介護サービスの役割は、様々な生活上の不自由さが残っていたとしても、その人らしく生活するためのお手伝いだと私は考えています。

こぶし苑は、法律上「介護老人保健施設」という施設で、本来は「体調変化の後、家庭生活するための準備、調整を行う」ことが目的の施設です。そのため、他の施設と比べて看護職員が多い、リハビリテーション職員が必要、という特徴があります。こぶし苑には、リハビリテーション担当職員として作業療法士が3名勤務しています。日々利用者の皆さん、ご家族の皆さんと相談しながら、運動・作業などリハビリテーションの内容を検討しています。リハビリテーションと聞くと専門の人